

### ◇ 順慶寺大肩衣 ◇◆

順慶寺では、大法要で役を持って頂いた方に、大肩衣を着用するように勧めている。肩衣 は当初に、助音講専用の大肩衣(男性は緑、女性は赤)が作られたが、その後、役員も 着用した方がよいとの意見が出て、護寺会総代・総代OB用の大肩衣(紺色)が作られた。

からの出典です。





## 今月の釈尊の言葉

秋に蓮をつみとるように 様々な愛着をとり 安らかに生きよ

のもやがて移りゆくことを教 して心を得たが、華やかなも 若者が華やかな飾りで瞑想 ◆ダンマパダ(法句経) 第二八五偈より

# 諸行無常を受け入れる ◇

 $\Diamond$ 

秋に水面の蓮を手で摘み採るように 安らぎに至る道を歩め。」(第二八五偈) 自己への愛着を断ち切れ。 今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より、 ブッダが説かれた静かな

若院のテーマカット NO.55

な一歩となります。 うな気持ちですが、実は、次へと歩み出す大切 夏に盛りとなった蓮も、秋には枯れた茎や葉を すべて切り取るようにしています。少し可愛そ 順慶寺でも蓮の花は、大切にしていますが、

不浄の業処(死体などを見て行う瞑想) ると、舎利弗は、その端正さを心配し、わざと ある、舎利弗の弟子で、端正な姿の金細工師だっ た若者に対する言葉です。 さて、今月のところは、釈尊の一番弟子でも 金細工師だった若者が、舎利弗の元で出家す をさせ

ました。しかし、その方法ではなかなか深い瞑

想に至らないために、舎利弗は師匠の釈尊に相

神通力で敢えて車輪ほどの黄金の蓮を

ŧ 創り、 さは尋常ではない」と教えらました。 えられたものでも諸行無常の変化が襲ってくる。 がて禅定から離れ出て、蓮のしぼむ姿を見て、 向上はなくなると見て、今度は神通力で蓮の花 若者は、心の中の様々な障害が消えて、禅定(心 移りゆくものの無常と苦を観じました。 が乱れなくなった状態)に達しました。 をしぼむようにしました。すると、若者は、や そこで、釈尊は、若者に「禅定で執着が抑 しかし、釈尊は、このままだとやがて若者に 執着が強かったならば、その変化の厳し

その上で若者を瞑想させました。すると、

く印象に残っています。

# 執着は教えを遠のける ◇

国の王妃であった、ケーマーの話は深 打つものでしたが、その中で、マガダ た、梶山雄一先生のお話はどれも心を 鸞聖人への深い信仰をもって話をされ 生のもとで学んだことがあります。 教学の第一人者であった○梶山雄 深い仏教学の知識と法然上人・親 かつて、京都大学名誉教授で、 一先 仏

それゆえに、普段から高邁な振る舞い 別に乞われて王妃の一人となりました。 が、古代インドの大国・マガダ国の王・ ませんでした。 をすることが多く、マガダ国の多くの ビンビサーラから、その美貌ゆえに特 へが帰依する釈尊にさえ会うこともし ケーマーはクシャトリアの娘でした

こうした姿に心を痛めたビンビサー

ラは、 な心は一気に失せて、釈尊の弟子となっ その哀れな姿を見たケーマーは、高邁 をとり、老衰して動かなくなりました。 そして、次の瞬間、天女がみるみる年 ないケーマーに、釈尊は神通力を使い たと言われています。 からシュロの葉で釈尊を仰がせました。 極上の美しい天女を連れて来て、後ろ 会をつくり、無理に対面させました。 面と向かっても釈尊に目を合わせ 一計を案じ、釈尊と対面する機

②五蘊盛苦と言われるとおり、次々と ません」と教えて下さいました。 ばかりいると、本当のことは見えてき 涌き出てくる若き活力に振り回されて 話に続き、「君たち若い人もその若さ に執着する限り、教えは聞こえません。 梶山先生の言葉は、深く刻まれ、 一連の話をされた梶山先生が、その

今ようやく意味が分かってきました。

昭和二十三年京都大学文学部哲学科(仏 昭和二年一月二十五日、静岡県生まれ。

教学専攻)卒業。久松真一、長尾雅人

(5識=対象を得て判断する「心」の機能。 (4) 行=イメージに対する意志判断。 ③想=表層作用。イメージ。 ②受=感受作用。外界からの刺激。 (1)色=いろや形のあるもの。 上がってくること。五蘊とは次の五つ。 の一つ。身体全ての働き(五蘊)が盛ん 別離、怨憎会、求不得、仏教の四苦八苦(生、老、 である故に、苦しみが次から次へと湧き 五蘊盛の四苦) 、病、死と、愛い

リ研究所に留学、昭和三十四年に「居 間インドビハール州立ナーランダ・パー の指導を受ける。昭和二十八年から三年

空思想研究の第一人者。平成十六年三月

京都大学名誉教授。大乗仏典における 庸関」の共同研究で日本学士院賞受賞、



何でお家でも報恩講をす

すが、 るのですか?

ことができました。ありがとうござ いました。 報恩講に向けての第一歩を踏み出す 報恩講も無事終わり、来年の 皆さんのお陰で今年のお寺の と 聞 自宅の御内仏で報恩講を勤め、

とお話しました。ですから、御本山 しゃったことを聞き直すことです、 お参りして、親鸞聖人が生前におっ 鸞聖人の祥月命日法要(報恩講)に かれたとき、御本山で勤められる親 先月に報恩講って何ですか、 わけです。

恩講のお参りすることから、「お取こうして、自宅の内仏で最初に報 われるようになりました。

らね。」

と、もう次の段取りをお考え

根を作って下さる方も、

そう言えば、お昼のお斎の大

「来年は大根の種類を変えるか

## 《第四十四回 報恩講

さを共有する場という意識が、しょうか。 勤めをし、法話を聞く場になっ は報恩謝徳・懺悔回心の談合 ており、私たちが念仏の有難 の場であったと習いました。 しかし今日の報恩講は、お 大学の講義で、本来報恩講 …薄れている気がします。 はうな場であったのか尋ねて もの、かつての報恩講がどの みる必要があるのではないで しれませんが、真宗門徒たる それが時代の流れなのかも

ります。そうしている間に、本山参 るし、折角京都へ行ったら、京都の 何処何処の名所へという気持ちにな でることが最も大切なことです。 の報恩講にお参りして、御真影に詣 、それは、沢山の観光地も目に入 ただ、今も昔も京都へ行くとなれ

気持ちをしっかりするために、先ず、 りがダシとなり、いつの間にか観光 教えを聞き直すご縁ですので、その して、本山に上山することを勧めた お手次ぎのお寺の報恩講に参り、 旅行がメインになってしまいます。 ですから、報恩講は、親鸞聖人の 次に そ 度をはじめたとのことでした。 くさん切った後にすぐ来年の支 ご苦労されて育てた畑の菊をた をお供えしていただくのですが、 も何とか無事勤めさせていただ いがしました。 が、このひと言に目の覚める思 いて少しホッとしていたのです おきとともに 「もう来年の支度をしていますよ。」 その方には、 おかげさまで、今年の報恩講 毎年本

堂 の

せるように心がけることからは まずは今年の反省を来年に生 のスタートだよ、といつも住職が じめたいです。 言っていたことを思い出しました。 でありつつ、同時に次の報恩講へ なのです。 ホッとすることもそこそこに 報恩講はこの一年の締めくくり

助音講の皆さん

報

I)

講をかわきりに三日間の報恩講を厳修

ろで、順慶寺では、

初日の子ども報恩

お勝手会の皆さん

# 令和五年度当山報恩講

# ナ禍前のかたちで厳

程で報恩講が厳修され、連日、多くの参詣者がありました。 さる11月17日(土)から19日(日)、当山順慶寺にて午前午後の通常日 10月まで季節外れの暖かい日が続き

しました。

## コロナ規制の撤廃

ましたが、=月に入って急に気温が下が

報恩講を迎える雰囲気になったとこ

マスク着用、アルコール消毒の自由化な 今年の報恩講は、本堂の入堂規制、



こども報恩講の様子

皆さまのおかげで、

ができました。

恩講を無事终えること

映像は、責役の相木国男さん 製作のユーチューブにてどうぞ

お花立ての様子

2I 貝

、岡崎教区2組主催による本山

◆二十一組団参バス二台=

さる川月

人目となる。

恩徳は」の御和讃を声の限りに絶叫し、 められ、三河雅楽研究会の雅楽の音色 分に発揮しました。 |年間助音の練習をしてきた成果を存

氏)、本堂荘厳用菊(近崎・相木好永氏)、他 60本(山ノ端・鈴木市成氏)、御仏供米|俵(大久 屋·岡川経康氏)、御仏供米|俵(今川西·塚本敬 御仏供米二斗・ダイコン

## 以前の体制に戻して勤められました。 のお抹茶接待の再開など、ほぼコロナ禍 廃して、庫裏でのお斎の再開、書院で どのコロナ禍で実施されていた規制を撤 琴声院釋尼清心

例年どおり順慶寺の総力をあげて法要 の仏華準備、クリーン会のおみがきや大 地年番には、お斎の配膳や配布物の仕 準備はお勝手会にあたっていただき、各 を厳修することができました。 分けなどのお手伝いをお願いしました。 と、お抹茶の接待はすみれ会、お斎の また、助音講によるお勤め、お花講 今回の報恩講から、総代の指示のも 総代〇B会による交通整理など、

> 遠州路を楽しむ 総代OB会主催バス旅行

## 連日にぎわった本堂

のお話にも熱が入りました。 となり、法話の市野先生、宇治谷先生 ロナ禍による影響を感じさせない賑わい 備しましたが、連日ほぼ満席となり、コ 本堂には、七十席ほどのイス席を準

最終日の午後には、御満座法要が勤 男女の助音講が「如来大悲の

バスニ台のハ十一名。順慶寺からは七

名の参加があった。

▼竹林整備を実施= さるⅡ月23日

報恩講団参が実施された。

参加者は、

日の作業に汗を流した。 行われた。当日、竹の切り出しなど 心に十七名の方がボランティアで参 の作業に、総代OB会の皆さんを中 頁役の相木国男氏所有の竹林整備が 来年のタケノコ掘りに向けて、

ゲームありで楽しい一時を過ごしました。

うな丼に舌鼓をうち、おしゃべりあり

べし」との会長の思いが伝わった報恩 陣頭指揮して下さいました。 コロナ禍以前

### とか。まさに「身を粉にしても謝す 習をして報恩講に備えてくださった 完全に戻すことをスローガンに実施 法要後に話を聞くと、事前に歩く練 編集雑記 入院明けの体で、連日の行事に参加 しました。そんな中、護寺会会長が 今年の報恩講は、

は、前責役の相木茂男さんに次ぐニ

日双光章を綬章された。

責役の叙勲

の叙勲にて、責役の岡本博和氏が旭

◆責役・岡本博和氏叙勲= さきの秋

編集部短信

## ようやく冬らしい寒さになってきま 電気が走り冬の訪れを感じました。 に思います。(若) 先日、 余計に寒さが際立っているよう 今年の秋は比較的温暖だった 車のドアノブを触る時に静

# 

## 名古屋市 相木英鋭様の母 11月19日寂 相木キョ子(91)

方が生前の役割を終えら れ、浄土におかえりにな られました。合掌 -名の順慶寺護寺会員の



四十七名)の参加がありました。

順慶寺

## 主な行事予 12

Č			
日	曜	行事内容	掃除当番
1	金	(有志)寺カフェ(9:00~、順慶寺南落間他)	
2	土		
3	田	来迎寺組お取越	
4	月	おたのしみ会(14:00、順慶寺本堂)	
5	火		
6	水	落合組お取越	
7	木	西丘組お取越	木-1
8	金		
9	土		
10	田		
11	月		
12	火		
13	水		
14	木	一里山組お取越	木-2
15	金		
16	+	順慶寺こども会(9:00、順慶寺本堂)	

	~	14 3 4 1	
17	日		
18	月	近崎組お取越	
10	וא	真宗講座(19:00、順慶寺本堂)	]
19	火	北尾組お取越	
20	水		
21	木	平松組お取越	木-3
22	金	21組対抗ゴルフコンペ	
23	土		
24	日		
25	月		
26	火		
27	/ 水		
20	木	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	木-4
28	1	年末大掃除(8:30、順慶寺)	
29	金		
30	土		
31	日	年越し勤行・修正会(23:45、順慶寺本堂)	

好評につき

本堂で正信偈のお勤めをされ た方に、寺からのお年玉とし て、もれなく、粗品を差し 上げます。お楽しみに。

のだとか。

ナンテンの由来は、中国の食堂の灯

て、心新たに新年を迎えましょう。 き時になりました。 れからのあり方を真剣に考えるべ れている気配です。 よいよ地球規模で大きな変化が訪 予測などにAIが取り入れられ、い 音声、言語処理、異常検知、分析· 反省し、御本尊の前でお勤めをし このような中で、私たちは、こ 大晦日、除夜の鐘を打って一年の 年越し勤行の右記の時間に、

> 5 おし **1**

順慶寺本堂にて

令和5年、

私たちの生活で、大

12月3日(日) 23時45分

~1月1日(月)1時0分終了

年越し勤行(修正会)

12月行事内容

詳細

間を含め、三ヵ年の任期を終え 下さい。 て、本年十二月の真宗講座で最 琢先生が、途中コロナ禍自粛期 ている、同朋大学副学長・福田 宗講座に講師としてお越し頂い コロナ禍以前の令和元年より真 配布してある予定表を参照して ます。該当の皆さんは、事前に ●真宗講座の福田先生最終講義

なってきましたね。風邪など引いてい みなさん、十一月以降、一気に寒く

え、ウクライナ戦争、ガザ戦争な 地球温暖化による環境の変化に加 題を投げかけています。世界では、 あらゆる面で、今まであり方に問

どが勃発。効率化を求めて、画像、

前の生活に戻りつつあります。 面で規制がなくなり、コロナ禍以 の脱却です。日常生活では多くの きく変化したことは、コロナ禍から

揃って御参詣ください。

人との距離感に微妙な変化を生み

じゅんこのときめき歳時記

ところが、コロナ禍を経て、人と

聞くところによると、ナンテンの実に えられるのだそうです。因みに、お祝 触れると、防腐作用のあるチアン水素 ド成分が咳止め効果をもつためらしい 含まれるドメスチンというアルカロイ と、よく南天のど飴をなめますよね ませんか。 を僅かに発生するため、よく赤飯に添 です。その他に、葉っぱにも、ナンジ いの場合は表、仏事の場合は裏にする ニンという成分があって、熱と水分に 冬になって、風邪を引いて咳がでる

> いそうです。 呂から魔除けとして植えらることも多 重なる意味の「南天竹」が語源らしい りを意味する「南天燭」、複数の竹が ですが、日本では、「難転」という語

日当れば みんな一あはぜ実南天

星野麥丘人

終講義となります。皆さまお誘 い合わせてご聴講ください。

12月より順次、組お取越を始め

●組のお取越はじめます

などを実施する予定です。家族 焼香、お屠蘇接待、お汁粉接待 お勤めをした後、御本尊前での 大晦日の深夜、皆さまと本堂で をすべて本堂で実施いたします。 を使わず、除夜の鐘を除く行事 以前の体制に戻し、庫裏・書院 今年の年越し勤行は、コロナ禍 )本年の年越し勤行は通常実施